

長野の林業

平成29年7月10日発行
長野の林業編集委員会

No.330

もくじ



トピックス	平成29年度ふるさと森づくり県民の集い (第68回長野県植樹祭)	2
	林研50周年・林業士40周年記念式典	4
お知らせ	春の叙勲 功労者表彰	5
特集	第二種特定鳥獣管理計画(第4期ツキノワグマ保護管理)を策定	6
	クマ注意 喚起/狩猟免許	
トピックス	スマート林業②……スマート林業って何ですか?	8
	信州山の日	10
	長野県林業大学校オープンキャンパス	11
県森連だより		12
長野県の木材市況		20



平成29年度ふるさと森づくり県民の集い
第68回長野県植樹祭が開催されました



平成29年度ふるさとの森づくり県民の集い (第68回長野県植樹祭)を開催しました

◇大会テーマ この森に 夢と希望が つまってる

(長和町立長門小学校 山浦 朋奈さんの作品)

開催日・場所

●平成二十九年六月三日(土)

●小県郡長和町姫木平のエコーバレースキー場とその周辺森林

主催

●長野県、中部森林管理局、長和町、(公財)長野県緑の基金、ふるさとの森づくり県民の集い上小地区実行委員会

当日は素晴らしい晴天に恵まれ、約千人の県民の皆様に参加のもと、心地よいグレンデの式典会場から蓼科山の雄姿を望むことができました。

式典の様様

●大会テーマ表彰

今年度の大会テーマは、長和町内の小学生の皆さんから応募をいただいた約百六十点の作品の中から選ばれました。



●みどりのふれあい宣言

長和町立長門小学校みどりの少年団の白川さんと輪湖さんにより、緑を守り育てる元気な宣言がありました。

●記念木の贈呈

協賛企業から長野県に寄贈していただいた福島県産のソメイヨシノの苗木を、今回の植樹祭の記念木として広く植えていただくこととし、上小地域の四市町村と、来年の県植樹祭開催予定地の下伊那地域を代表して売木村へ贈呈が行われました。



大会テーマの表彰



みどりのふれあい宣言



記念木の贈呈

アトラクション

太鼓や、コカリナ、ハープの演奏、他にもロンドンオリンピック銅メダリストの早川漣さんにアーチェリーの魅力を語っていただきました。



太鼓演奏 ながと不動太鼓



森のコカリナ演奏 上田コカリナアンサンブル



癒しのハープ演奏 竹内遥香さん



植樹の様様

今回は、昨年開催しました「第六十七回全国植樹祭」の開催理念である、「植えて・育て・利用する」「森林・林業のサイクルを、取り戻そう」を具現化するため、本県の代表樹種であるカラマツの人工林で行った帯状伐採地に、新たなサイクルの出發として再びカラマツの苗木約三千三百本を植えていただきました。

植栽した苗木の一部は、再造林の低コスト化に向けて普及を進めているコンテナ苗木を用いて、森林県から林業県への取組みを進めました。

また、植樹会場は森林認証SGECの認証森林（持続可能な森林経営を行う森林として認証）となっています。



今回の「ふるさとの森づくり県民の集い」では、閑静な山岳高原リゾート地である姫木平で、信州の自然や山の魅力、さらには上小地域の魅力を感じていただきました。

これからも県民参加による森林づくりを一層進めるために、地域住民、森林づくりを支援する企業・団体の皆様のご参加・ご協力のもとで、森林づくり活動を行い、緑豊かな住みよい郷土づくりを推進していきます。

また、福島県産のソメイヨシノの苗木の一部を、当日午後、記念木として長和町役場の敷地に植樹しました。



来年は、下伊那郡内で開催の予定です。

【森林づくり推進課】





活動を続けて半世紀

長野県林業研究グループ連絡協議会創立五十周年
長野県林業士会創立四十周年

記念式典が開催されました

平成二十九年五月二十五日に、長野市「ビッグハット」において、長野県林業研究グループ連絡協議会創立五十周年、長野県林業士会創立四十周年の記念式典が開催されました。

式典は、主催者を代表し県林研の田中会長が、白馬村のオリンピッククロスカントリー会場周辺の森林整備や、天龍村での雨水害

被害地復旧作業等、今までの活動を振り返るとともに、今後も林業の先駆的な役割を誓う力強い挨拶から始まりました。

続いて、これまで会員の先頭に立ち活動を行ってこられた山岸忍様（林研グループ・松本支部）と田中淳司様（林業士会・木曾支部）に対し、山崎長野県林務部長から知事感謝状が交付されました。山岸忍様は、四賀林研グループの設立から現在に至るまで会長を務められ、地域のリーダーとして後継者の育成に尽力されました。また平成七年から平成十五年にわたり長野県林研の会長を務められ、林業士会と協力し



御来賓代表の菅原先生



田中林研会長 挨拶

長野オリンピック競技場内の森林整備を行うなど、会の自発的活動に取り組みました。田中淳司様は、林業士として地域林業の牽引役を続け、平成二十二年には指導林業士に認定されました。昭和五十二年に南木曾町林業研究クラブを立ち上げ、地域活動のほか「阪神・淡路大震災」の被災地木材支援などに取組まれました。長野県林業士会では発足以来初めての互選により会長となられ、県林研と合同で「森林の市」への出展などの活動を通じて県内林業士を牽引されました。

御来賓を代表して菅原聰様（信大名誉教授）からは、地域に根差した林業関係者の活動に対する期待のおこばをいただきました。

この記念式典に合わせて発刊された記念誌では、林研、林業士の軌跡と県下各地域での様々な活動が紹介されています。天龍村の村澤崇さんと下伊那地方事務所長との対談や、長野の林業に掲載された林研・林業士の活躍の記事など盛りだくさんの内容になりました。

各地域の林業研究グループ、林業士はこれからも地域の森林・林業とともに歩みます。

WE LOVE FOREST!



記念誌



感謝状を受ける田中淳司様



謝辞を述べる山岸忍様

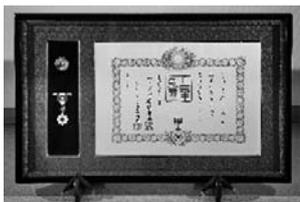
細川忠國氏が叙勲で 旭日小綬章を受賞

平成二十九年四月春の叙勲に於いて、細川忠國氏が永年の木材産業功勞により旭日小綬章を受賞されました。

細川氏は、諏訪木材協同組合・長野県木材協同組合連合会理事長を永年勤めた他、森林・林業関係等団体の役員を歴任し、その御功績は顕著であります。

特に、県産材利用拡大のため、丸太基礎杭設計マニュアルの作成や、信州型接着重ね梁の平成二十八年四月、建築基準法第三十七条の大臣認定取得に尽力した他、地元富士見町の町会議員として地域の活性化等幅広い活動を重ねてこられました。

叙勲発表後、多くの方からお祝いを頂き「改めて叙勲が大変名誉なことと思いを新たに嘯締めています。其々の職務を精一杯務めたことは勿論ですが、役職を無事務めさせていただいた皆様の御厚志に改めて感謝を申し上げたい。」と感慨を述べています。



長野県山林種苗協同組合 長野支部長 神戸直日氏 緑化功勞で内閣総理大臣賞受賞

スギ苗木を中心に長年山林種苗生産に携わっており、現在はカラマツやスギのコンテナ苗木生産を行うとともに、少花粉スギの生産に力を入れています。また、効率的な優良育種苗木生産に関する試験研究にも協力するなど、新たな山林種苗生産技術の確立のため長期にわたり、貢献をされています。

さらに、長野冬期オリンピック競技大会においては、スピードスケート、ボブスレー、リュージュ競技会場などに緑化木を植栽するなど、オリンピック関連施設の緑化にも尽力されました。

山林種苗生産の体制づくりや後継者育成に対しても積極的に関わり、長野県山林種苗協同組合、公益財団法人長野県緑の基金の理事等の要職につき、緑化推進や種苗生産技術の向上に指導的役割を果たしているほか、平成28年から長野県林業経営者協会の会長を務め、林業技術の普及、指導に尽力し、長野県における林業振興に貢献するなどの多方面に亘る活動に対して顕彰されました。



村澤崇氏が知事表彰 (産業功勞者部門)を受賞

平成二十九年六月五日に、村澤崇氏が長年の林業における功勞により産業功勞者(林務)部門で知事から表彰を受けました。

村澤氏は昭和五十三年から二十年間、県林業指導林家として活躍し、特に、優良材生産を目標とした高度な枝打ち技術や複層林施業による安定経営を実践し、昭和四十一年度から昭和四十三年度まで県林業研究グループ連絡協議会長として、会員の林業技術向上を牽引しました。

これらの功績から平成十九年度には(公社)国土緑化推進機構の「森の能手・名人百人」に選定され、また長野県林業大学の学生を昭和五十四年の開校以来長年にわたり指導するなど林業後継者の育成にも大いに貢献されました。

氏は、「長野県からこのような表彰をしていただけるとは思っていなかったし、足が不自由になり表彰式へは参加できるとは思っていなかったの、非常にうれし。今までの経験を活かして林業関係のことについてお手伝いしたい。」と受賞の喜びを述べられました。



第二種特定鳥獣管理計画（第4期） ツキノワグマ保護管理を策定しました

長野県では、野生鳥獣による自然環境や農林業等への被害が発生しており、平成二十七年には、約九億七千万円の農林水産業被害が発生しています。その中でツキノワグマ（以下、クマという）による農林水産業被害は、主に造林木の剥皮による森林被害があり、全体の一角を占めるとともに、近年集落周辺などへの大量出没による人身被害も問題となっています。

そのため、クマによる人身被害や農林水産業被害などの人との軋轢（あつれき）を軽減し、「人とクマとの緊張感のある棲み分け」のために、鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律に基づく第二種特定鳥獣管理計画を定め、必要な対策を推進してきました。

平成二十八年度をもって前期計画が計画期末を迎えたことから、新たに第二種特定鳥獣管理計画（第四期ツキノワグマ保護管理）を策定しました。

計画の概要は、次のとおりです。

1 計画期間

平成二十九年四月一日から平成三十四年三月三十一日までの五年間



図 ツキノワグマ地域個体群（管理ユニット）の区分

2 対象地域 県内全域

3 長野県内のツキノワグマの生息状況

本県のほとんどの地域でツキノワグマが生息しており、ヘアトラップ調査、捕獲情報及び目撃情報等による統計的手法（ベイズ法）による個体数推定では、緩やかな増加傾向が認められました。

しかし、地域個体群（管理ユニット）ごとに見ると、「越後・三国」、「北アルプス北部」等の7個体群はほぼ安定した生息状況にあると推測されますが、「八ヶ岳」地域個体群は、生息分布の分断が著しいこと、推定される生息数が非常に少ないことなどから、地域個体群の存続が懸念されています。

4 目標を達成するための総合的な取り組み

保護管理を進めるにあたり、「①生息地等の環境整備」、「②被害予防対策」、「③個体数の管理」を総合的に取り組み、「人とクマとの緊張感のある棲み分け」を進めていきます。

① 生息地等の環境整備

集落周辺の緩衝帯の整備と地域での維持管理、未利用果樹、生ごみなどのクマの誘引物の適切な処理等を進めます。

② 被害予防対策

集落ぐるみの電気柵等を活用した農業被害の予防、被害対策チーム等専門家による予防対策の推進等の対策を進めます。

③ 個体数の管理

狩猟による「人とクマとの緊張感のある関係」を目指すとともに、年次ごとの捕獲頭数の上限を示して個体数管理を行っていきます。また、クマの出没が年ごとに異なることから、出没状況に連動して、捕獲頭数の上限を地域個体群ごとに設定して、複数年総捕獲数管理方式を併用して管理を進めていきます。



クマによる人身事故を減らすために ―一番大事なのは、クマに出会わないこと!!―

長野県では、豊かな自然環境に恵まれることから、夏以降のキノコ採り、秋の紅葉狩り、溪流釣りなど入山される機会が多くあります。

しかし、自然が豊かな本県では、ほとんどの地域でツキノワグマが生息しており、残念なことにこれまでにクマによる事故も発生しています。

クマによる人身事故を避けるためには、クマに出会わないことが一番大事ですので、山に入る際は、次のことに注意してください。

◇クマの活動が活発な朝夕には、できるだけ山に入らない。
◇山に入る際は、単独ではなく、複数で声を掛け合いながら行動する

◇周囲を常に確認する
◇クマの痕跡をみつけたら引き返す

クマは、山菜、ネマガリタケ、ドングリ等山の中の食べ物を探して動いているので、どこでもクマに出会う可能性があります。また、沢筋などでは水の音で、クマも人もお互いの気配を感じず接近してしまうことがあります。山中では周囲に気をつけて、クマの足跡や糞などを見つけたら、それ以上近づかずに引き返しましょう。

◇音が出るもの(笛、クマ鈴、ラジオ等)を鳴らしながら行動する

クマは、人の気配を感じると、通常は、自分から人を避ける行動をとります。山に入る際は、携行した鈴等の音を出しながら行動しましょう。

◇子グマを見つけたら絶対近づかない。すぐに立ち去る

子グマの近くには必ず母グマがいます。母グマは子グマを守るために、人へ攻撃してくることがあります。子グマがどんなにかわいくとも絶対近づかず、静かにクマを確認しながら立ち去りましょう。

クマに遭わない努力が一番大切です。



【鳥獣対策・シビ工振興室】

第2回・第3回狩猟免許試験 初心者狩猟免許試験講習会のお知らせ

9月、10月に狩猟免許試験を実施します。

また、試験内容に即した初心者狩猟免許試験講習会を開催します。長野県内に住所があり、狩猟免許を取得したいとお考えの方や、種別の異なる狩猟免許を取得したい方は、受験が必要です。

平成27年度から「網猟免許」及び「わな猟免許」は、免許取得年齢が引き下げられ、満18歳以上の方から受験可能になりました。

狩猟免許は、趣味としての楽しみのほか、有害鳥獣の捕獲等、地域に貢献する有意義な資格です。

受験・受講を希望される方は、お近くの地域振興局林務課へお申込みください。

○試験及び講習会日程
左の日程表をご確認ください。

○受付期間

第2回試験 平成29年8月7日(月)～8月18日(金)まで
第3回試験 平成29年9月4日(月)～9月15日(金)まで

狩猟免許の種類

免許の種類	使用できる猟具	受験可能年齢
網猟免許	網を使用した狩猟	満18歳以上
わな猟免許	わなを使用した狩猟	満18歳以上
第一種銃猟免許	装薬銃を使用した狩猟	満20歳以上
第二種銃猟免許	空気銃を使用した狩猟	満20歳以上

※ 年齢は受験日当日の年齢

狩猟免許試験日程

区分	年月日	会場
第2回	平成29年 9月10日(日)	上小森林センター
		飯田合同庁舎
		松本合同庁舎
第3回	平成29年 10月3日(火)	県営総合射撃場(辰野町) 長野合同庁舎

初心者狩猟免許試験講習会日程

区分	年月日	会場
第2回 受験対象	平成29年 8月31日(木)	木曾合同庁舎
		上小森林センター
		飯田合同庁舎 松本合同庁舎
第3回 受験対象	平成29年 9月21日(木)	大町合同庁舎
		北信合同庁舎
		県営総合射撃場(辰野町) 長野合同庁舎

スマート林業って何ですか？

はじめに

最近、林業関係の冊子の中に「情報通信技術 ICT(注1)」や「スマート林業(注2)」といった言葉があふれています。よし、我が家も明日からスマート林業だ！というものの何から始めたら良いのでしょうか。ICTは非常に広範囲なものを含む言葉です。そこでICTと呼ばれるモノの整理をし、どう役に立つのかを考えていきたいと思います。キーワードは「適材適所」です。

◆ 森林を知る

森林整備の準備として、樹種、材積、地形など山の情報収集はとても重要です。そこで活躍するのが航空レーザー測量、地上レーザー測量などの新しい計測手段です。航空レーザー測量は広範囲な森林資源の把握に適しています。長野県では地形判読を容易にするCS立体図(注3)の作成や、治山事業において全県の民有林における樹種、樹高、単木の位置情報、林分密度の判読等(注4)の解析に利用しました。一方、地上レーザー測量は計測範囲が限定的ですが、胸高直径や幹の曲りなど単木の正確な測量が得意です。これらの解析情報を利用することで、森林の状況を熟練森林技術者でなくとも正確かつ短時間で把握できるようになります。ちなみに今月号に掲載されている某測量会社の広告はこの分野の話題ですね。

そしてこれらの計測機器を運搬する新しい手段としてドローン(注5)が注目されています。従来の航空機より計測範囲が狭いものの安価で手軽なため機動性が高いことが優れた点です。

～ICTと林業の関わり～



調査範囲が限定的な場合や即時性が求められる場合は機動性の高いドローンが適しています。

◆ 情報の利用

施業地を集約化する際、地域の山を全て知る長老に随分お世話になりました。施業適期の森林の場所、所有者などを丁寧に教えていただいたものです。この長老のように山の情報を管理・解析するのがGIS(注6)です。森林簿など従来の情報にあわせ、新たな森林資源の情報を一元的に管理することで、効率的な施業地の選定や、所有者の取りまとめ等に利用されます。またGISで作成した図面等をスマートフォンに入れておくと現場で重宝します。近年はQGIS(注7)等のフリーソフトがあり、導入しやすい環境が整ってきました。

◆ 川上と川下を繋ぐ

先月号に掲載された椎野氏の講演でも触れましたが、将来の流通形態として「IOT」(注8)が注目されています。例えば、現場のハーベスタに通信機器を積み、インターネットを介して市場情報・顧客の要望をリアルタイムに把握して無駄なく造材するというイメージです。すでにこの機能を備えるハーベスタがありますが、活用されるのはこれからでしょう。

◆ 適材適所

ICT活用の肝は、「目的に適ったICTの選択」です。自分に必要な分野の技術は何であるかを考え、予算と相談のうえ導入計画を立ててください。ICTを活用し、よりよい林業のスタイルを作っていくのは現場の技術者の「心意気」であると思っています。

(注1) ICT(あいしーていー information and communication technology)情報通信技術。ITの類義語。ITを使ったサービスやビジネスなど活用面を含めて使われることが多い。

(注2) スマート林業(すまーと りんぎょう) ICT等を活用した先進的な林業の取組のこと。

(注3) CS立体図(しーえすりつたいず)地形判読を容易にする立体地形図。長野県林業総合センターで開発。長野県森林情報資産として管理され、当該森林所有者、林業事業者、学術研究者などが利用可能。問合せは各地域振興局林務課普及係へ。

(注4) 長野の林業NO.329 「ちさんマン、空から山を見る」に掲載。

(注5) ドローン(どろん)無人飛行機のこと。近年は特に小型の無人飛行機(複数の回転翼を持つマルチコプター等)を指している。

(注6) GIS(じーあいえす)地理情報システム。森林計画図のような図面と森林簿のような情報を連結して管理・解析することができる。

(注7) QGIS(きゅーじす)フリーソフトのGIS。市販のGISとほぼ同機能。バージョン更新が頻繁。解説本もあるが旧式化が早い。要注意。

(注8) IOT(あいおーてー Internet of Things)いろいろなモノが通信機能を持ち、インターネットにより接続され相互に制御される仕組み。椎野氏ブログ(椎野潤 森林フォーラム IOTで検索)に詳細記事有り。

【信州の木活用課】

「信州山の日」フェスタを開催します

平成二十六年に制定しました「信州山の日」ですが、四年目となる今年は「信州山の日」である七月二十三日(日)に小諸市高峰高原で「信州山の日フェスタin小諸・高峰高原」を開催します。

今年のフェスタは、「信州山の日」の定着と浸透、山に親しみ、学ぶ機会の創出という目的に加え、信州デザインেশョンキャンペーンとも連携し、多くの県民の皆様は信州の山の魅力に触れていただく機会としたいと考えています。

地元小諸市千曲小学校みどりの少年団による「信州山の日」宣言や高峰高原ハイキング、プロのヨーデル歌手北川桜さんの高原の癒しコンサート、ポールを使ったウォーキング講習会など多彩なイベントを行います。

また、信州の山岳文化に関する講演会やシンポジウムも開催します。

小諸市内から約二十分で行くことができる標高二千メートルの高峰高原で開催する「信州山の日」フェスタにぜひ、お越しください。

「信州山の日」フェスタin小諸・高峰高原

- 開催日** 平成29年7月23日(日) 午前9時30分～午後4時
- 開催場所** 小諸市高峰高原 アサマ2000パークスキー場
- 主なプログラム**
- 9:30～開会式
 - 9:50～高峰山の魅力についてのお話し
 - 10:10～高峰高原ハイキング
 - 10:30～高原の癒しコンサート
 - 11:00～ポールdeアクティブウォーキング講習会
浅間山麓スポーツ医学研究所による健康講話
 - 12:15～高原の癒しコンサート
 - 13:00～信州山岳文化シンポジウム
- ブース展示**
- 10:00～16:00
 - 県産材のイスづくり
 - シナノスイートを使用した甘酒ゼリーの試飲 など



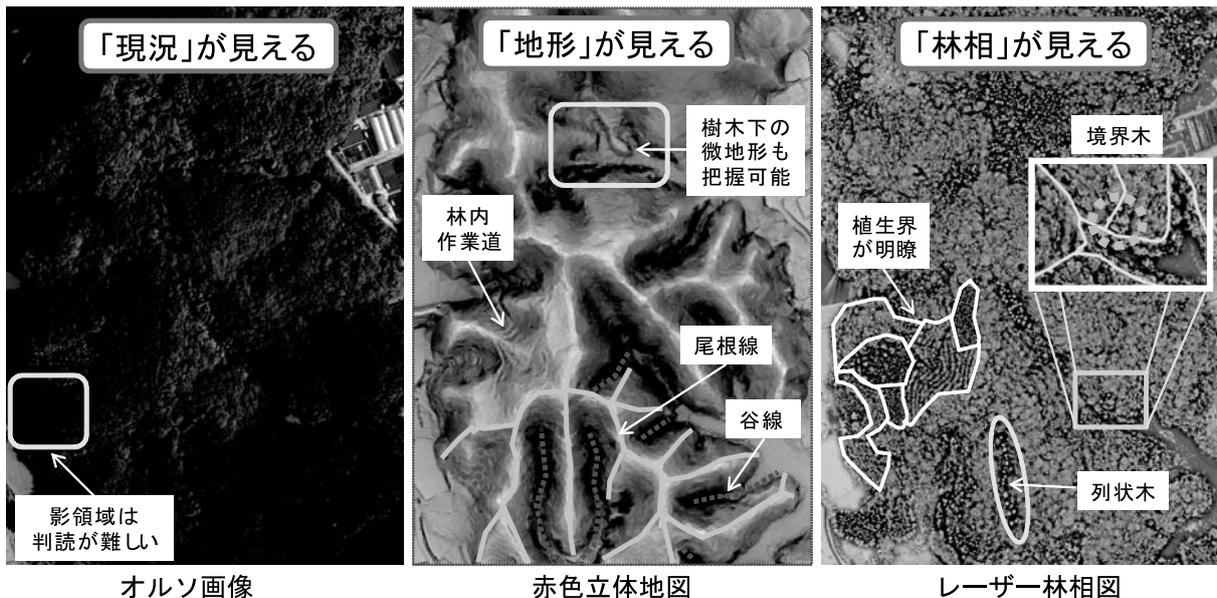
高峰高原からの眺望



【森林政策課】

航空レーザデータで進む林業イノベーション

効率的な計測から情報分析、システム、運用までトータルでサポートします



アジア航測株式会社

長野営業所
長野県長野市大字鶴賀 751-6 大成第2ビル TEL: 026-226-4750



長野県林業大学校 オープンキャンパスのお知らせ

自然の中に 心の中に 森林を育てる

長野県林業大学校(以下「林大」)は、
林業専門課程の専修学校です。(修業年
数二年・全寮制)

林業の専門知識・技術を身につけ、
地域で指導的な役割を果たす技術者及
び林業後継者となる優秀な人材を養成
すること、そして幅広い知識と豊かな
人間性を持った人づくりを目指してい
ます。

来て・見て・感じて 長野林大を体感

左記の日程でオープンキャンパスを開催
いたします。施設を見たり、先輩学生から
直接話を聞いたりして、林大の魅力を実感
してみてください。学生・生徒さんはおも
ろい、ご家族や付き添いの方も大歓迎です。
ぜひ一度お越しください。

開催日
第1回 平成29年8月4日(金)
第2回 平成29年8月27日(日)



クイズで林大を知る!
在校生がミニ講座「林大クイズ」で、
ユーモラスに林大の1日を解説!!



在校生の案内で寮内ツアー!
県産材使用で木の香りが
アロマとなって漂う女子寮!!

時間

9時30分～11時30分(受付9時より)
*11時30分より、寮食の試食や個別相談
もごさいます。(希望者)

内容

学校説明及びT H E林大体験「かっこ
よく木を切ろう・ミニツールを作ろう・
狩猟シミュレーター体験」、校内・寮の見
学など。

申込方法【事前申し込みが必要です。】

フアクシミリ、電子メール、郵便はがき、電話のいずれかの方法で、
開催日の一週間前までにお申し込み下さい。
参加日、お名前、ご連絡先などが必要となりますので、詳しくは、
林大のホームページをご覧ください。

平成三十年度入学生の募集について

ホームページには学生募集のご案内も掲載しております。募集人員は20
人です。詳しくは「入試情報」をご覧ください。左記までお問い合わせ
ください。

【お問い合わせ先】

長野県林業大学校
〒397-0002
木曾郡木曾町新開4385-1
電話 0264-23-2321
FAX 0264-21-1058
E-mail ringyodai@pref.nagano.lg.jp
http://www.pref.nagano.lg.jp/ringyodai/index.html



寮食を体験：翌検査特製カレーです!
在校生と共に美味しいカレーを食べな
がら、じっくり林大の学生生活を質問!!



林業の中核的な担い手としての役割を果たすために
 平成29年度 森林組合経営改善
 支援委員会開催される

平成29年6月21日(水)、長野県庁議会棟第一特別会議室(長野市)にて、平成29年度森林組合経営改善支援委員会が開催されました。

同委員会は、「林業県」への飛躍に向けて、森林組合が経営上の課題を解決し自立的経営に転換することが必要であり、このために、経営等の第一人者による経営診断及び改善指導を実施し経営基盤を強化することを目的として設置されました。

会議は、初めに3組合で実施し



土屋委員長(東京農工大学教授)による議事進行

た経営診断の結果と課題の解決について坪野委員(林業経営コンサルタント)による報告と意見交換が行われました。次いで、本年度の事業実施計画について、支援を行う森林組合と取組内容、最後に



審議の状況

「県内森林組合系統の信頼回復に向けた行動宣言」及び具体的な実施方法について、活発な意見交換が行われ委員会は終了しました。

「森林環境税(仮称)の検討状況」及び「再造林等の森林施策の推進」について
 長野県造林協会総会
 & 森林・林業セミナー

6月27日(火)、長野県造林協会
 通常総会(会長:藤原忠彦)が長野

県林業センタービル(長野市)にて開催されました。

本協会は80の会員(61市町村、15森林組合、4県域団体)によって構成され、森林の健全な育成に寄与することなどを目的としています。

通常総会は、長野県森連・滝澤栄智専務理事の挨拶に続き、中部



長野県森連・滝澤栄智専務理事の挨拶



中部森林管理局
 佐藤肇森林整備部長による祝辞

森林管理局佐藤肇森林整備部長と、県林務部森林づくり推進課清水靖久企画兼保安林係長からご祝辞を頂いた後に議事が執り行われ、各議案についてそれぞれ審議の上、原案通り承認されました。

総会終了後は森林・林業セミナーが開催され、長野庁森林整備部計画課課長補佐城風人様より、「森林環境税(仮称)の検討状況」について、同整備課課長補佐吉川正純様より、「再造林等の森林施策の推進」について講演をいただきました。

城風人様は、「森林環境税(仮称)の検討状況」について、平成29年度与党税制改正大綱における森林環境税の扱いについて説明され、適切な森林整備を通じた森林の多



県林務部森林づくり推進課
 清水靖久企画兼保安林係長による祝辞



面的機能の発揮、森林整備をめぐる課題、市町村の役割強化等の方向性（森林整備を進めていくための課題の解決方向）、市町村が主体となった森林整備の方向性（市町村主体の新たな仕組みの検討、体制支援の取組について等）、府県の超過課税の状況、今後のスケジュール、森林吸収源対策に係る地方財政措置、地域林政アドバイザー制度、市町村が森林を公有林化するために測量や調査を行う場合について、国庫補助事業と連携して実施する地方単独事業について等、広範な内容を丁寧に説明してくださいました。



林野庁森林整備部計画課 城 風人様による講演



セミナーの様子

掘り下げて解説していただき、有意義なセミナーとなりました。

近年、重要視されている課題を扱って、重要な再造林、間伐の推進、森林整備の低コスト化及び取組事例について、分かり易く説明してくださいました。



林野庁森林整備部整備課 吉川正純様による講演

山の恵み盛りだくさん！木材市場にあそびにおいでよ！

松本広域森林組合 10 周年記念行事

『森の恵みふれあい祭り』

日時：平成 29 年 8 月 5 日（土）

午前 9 時～午後 3 時

場所：中信木材センター もくりゅう館

安曇野市三郷温 4000 番地

お問い合わせ：0263-77-2347

- ・ 木材市場見学ツアー★
- ・ 地元の方々の素敵なステージ♪
- ・ 木工教室や林業機械の体験もできる！
- ・ 林業用品・板材一点物等の即売会☆



林業と木材に親しむ一日



主催：長野県森林組合連合会 中信木材センター / 松本広域森林組合
 後援：中信森林管理署 / 長野県 松本地域振興局 / 安曇野市

暑中お見舞い申し上げます



XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

みどり産業株式会社
 代表取締役社長 洞 和雄
 本社/長野市大字稲葉二四三三三林友ビル
 ☎(〇二六)二二四一八七〇八
 FAX(〇二六)二二三一七九八九

日本林業土木(株) 長野出張所
 所 長 竹内 正比古
 出張所 長野市岡田町三〇一六
 長野県林業センタービル内
 ☎(〇二六)二二七一六一八五

長野国営林 森林整備協会
 会長 長花 見隆夫
 副会長 長林 和弘

一般社団法人
長野林業土木協会
 会長 長木 下修
 役員一同
 長野市稲葉母袋沖六一二二二
 TEL(〇二六)二二二一六二二二
 FAX(〇二六)二二二一三六一五

一般財団法人
日本森林林業振興会 長野支部
 支部長 土田 薫
 長野市稲葉二四一三三
 TEL(〇二六)二二六一〇九一三
 FAX(〇二六)二二六一九二七六

長野県森連指定
 林業機械化協会会員
 テンション・刈払機・集材機
 ワイヤロープ・林業機械器具
有限会社 ガモウ商会
 代表取締役 蒲生 浩明
 松本市波田中波田五一八一
 ☎(〇二六)三九九二二四六八

新しい時代の森林の保全・管理・活用に関与する技術を提供します
株式会社 森林テクニクス 長野支店
 長野市松岡丁目六番三四号
 TEL(〇二六)二四一九二七二

建設コンサルタント
 (森林整備・治山林道環境事業等
 森林の総合調査設計)
株式会社 中部森林技術コンサルタンツ 長野支店
 支店長 長谷川 洋
 長野市稲葉中千田沖二〇四〇一
 ☎(〇二六)二二四一八七一〇

一般社団法人
日本森林技術協会
 長野事務所 職員一同

株式会社 長野林友
 代表取締役 大屋 孝好
 長野市大字稲葉二四三三三林友ビル
 ☎(〇二六)二二六一七七四一
 FAX(〇二六)二二六一七七四三

おかげさまで創業一二十年
 住まいに関する総合資材販売
株式会社 クラサワ
 取締役会長 倉澤 賢一郎
 代表取締役 倉澤 慶一
 長野市三輪一七七一
 ☎(〇二六)二四一三二三四七
 FAX(〇二六)二四一三二三四七

株式会社 吉本
 代表取締役 由井 正隆
 南佐久郡佐久穂町大字平林二二二
 ☎(〇二六)七八六一四三〇五
 FAX(〇二六)八六一五五四四

ワイヤロープ・カモシカ用防護柵の販売
 落石防護施設の設計・施工・資材販売
東京戸張株式会社
 東京都港区浜松町一丁目一七番六号
 TEL(〇三)五五〇五一一〇八
 FAX(〇三)五五〇五一一〇八九

信州の木認証合板で
 地産地消の緑の循環

 針葉樹合板のパイオニア
林ベニヤ産業株式会社
 (本社) 06-6228-1401
 (北陸営業所) 0767-52-4376

環境にやさしいシカの忌避剤
 農林水産省登録第22312号
全卵粉末水和剤 ランテクター水和剤
 シカ・ウサギ・カモシカの食害から守る忌避剤
 農林水産省登録第17911号
シラム水和剤 コニフアー水和剤
 販売元 **大同商事株式会社**
 東京都港区浜松町一丁目十番八号
 電話 03-54708491

栄村森林組合
 代表理事 桑原 重雄
 組合長

北信州森林組合
 代表理事 中山 稿一
 組合長 役員一同

長野森林組合
 代表理事 酒井 美明
 組合長 役員一同

松本広域森林組合
 代表理事 中村 善行
 組合長 役員一同

長野県の木材市況

平成二十九年七月十日発行 長野の林業通巻三三〇号

発行長野の林業編集委員会
事務局 長野市岡田町長野県林業センター内
(社)長野県林業センター
(社)長野県林業普及協会

電話〇二六(二二七)五〇一五
Eメール Nagarin-center1@qa3.so-net.ne.jp
Eメール rinfukyoo@giga.ocn.ne.jp
電話〇二六(二二六)五六二〇

第991回 市売市況表

(平成29年6月20日実施)

長野県森林組合連合会 伊那木材センター

Tel 0265-72-2684 Fax 0265-76-8759

〇 強気配 - 保合 △ 弱気配

樹種	長さ(m)	規格	末口(cm)	高値(円/㎡)	中値(円/㎡)	気配	備考
ひのき	3.0	直	14~16	14,000	11,000	△	直造材でお願いします。柱材価格横這い。
		直	18~22	15,000	13,000	△	
き	4.0	直	14~16	14,000	8,000	〇	土台材引き合いあり。
		直	18~22	16,000	13,000	〇	並材値段横這い。
		直	24~28	18,000	14,000	-	
すぎ	4.0	直	30上	15,000	10,000	-	直造材でお願いします。
		曲	20上	12,000	9,500	-	
なら	4.0	直	18~54	16,000	8,500	〇	
とち	2.0	直	46	55,000		〇	時期が悪いため伐採時期をずらした方が
くるみ	3.0	直	34	22,000		〇	良いこともあります。
くり	3.0	直	44	70,000		〇	伐採される方は御相談下さい。
	4.0	直	18~24	48,000	12,000	〇	
か(ら)まつ	4.0	直	18	13,000	10,000	〇	材が不足しています。是非
		直	20上	12,000	10,000	〇	出品をお願いします。
		直	14~16	8,000	4,000	〇	

出品量 1,456㎡ 販売量 1,455㎡ 落札率 99% 買い方 35社

季節的に材の質が悪いことから価格が伸び悩んでいます。しかし、広葉樹に関しては良材に高値がつく傾向です。またカラマツは安定した需要がみられます。引き続き御出品よろしくをお願いします。尚出材には合法認定業者の登録をお願いするとともに出材時にはその都度、合法認定番号及び伐採地と伐採箇所を詳しく記載した納品書の提出をお願いします。
(*安全のため荷下ろし、積込みの際には止り止めの使用をよろしくをお願いします。)

第993回 市況表

(平成29年6月19日実施)

長野県森林組合連合会 中信木材センター

Tel 0263-77-2347 Fax 77-2349

〇 強気配 - 保合 △ 弱気配

樹種	長さ(m)	規格	末口(cm)	高値(円/㎡)	中値(円/㎡)	気配	備考
すぎ	3.0	直	16~18	11,000	9,000	△	3.0m×14~18cm柱取り引合いあり。20cm上は4.0m造材してください。
	4.0	直	30~48	13,000	10,000	△	
ひのき	3.0	直	20上	16,000	13,000	-	材不足しています。並材値段横這い。
	4.0	直	20~28	16,000	14,000	-	
からまつ	4.0	直	30~40	40,000	17,000	-	
		直	6~13	12,000	8,000	〇	材不足しています。並材上がり
		直	14~18	13,000	10,000	〇	基調。細物5cm~13cm引合い強し。ご出品お願いします。
あかまつ	4.0	直	20上	15,000	13,000	〇	
		直	14~18	6,000	5,000	-	
あかまつ	4.0	直	20~40	12,000	7,000	〇	
		直	18~24	8,000	6,000	△	需要期を過ぎ全般的に価格低迷。伐採は控えてください。
くり	2.0~8.0	直	26上	13,500	6,500	△	
くり	2.0~7.6	直	16~40	220,000	17,000	〇	
くり	2.0~7.6	直	16~36	30,000	12,000	〇	良材に高値。
くり	4.0	直	14~80	37,000	20,000	〇	広葉樹、応札活発ご出品下さい。
くり	4.0	直	18~36	31,500	15,000	〇	
くり	3.0~4.0	直	22~36	60,000	10,000	〇	

出品量 4,998㎡ 販売量 4,959㎡ 落札率 99% 買い方 39社

今回、広葉樹中心の市売りとなり応札活発でした。クリ、セム、カヤ、トチ、ミスメ等良材に高値がつかれました。又、カラマツ全般に需要があります(小径木5cm~も)。その他の樹種も安値ながらも荷動きは見られます。引き続き出品をお願いします。
尚、当連合会は合法木材に取り組んでおります。合法木材供給事業者の認定を取得し、出荷時には合法的に伐採された木材であることのコメントと合法木材認定番号が記載された納品書の提出をお願いします。

第1025回 市売市況表

(平成29年6月28日実施)

長野県森林組合連合会 北信木材センター

Tel 026-295-5546 Fax 026-295-5547

〇 強気配 - 保合 △ 弱気配

樹種	長さ(m)	規格	末口(cm)	高値(円/㎡)	中値(円/㎡)	気配	備考
すぎ	3.0	直	16~18	13,000	9,000		柱材需要あり。直造材でお願いします。
		直	20上	13,500	10,000		直造材でお願いします。
	4.0	直	8~13	5,500	4,500		需要あり。出品願います。
		直	14~20	12,500	9,500		出品願います。
		直	22~28	14,000	11,000		出品願います。
		直	30上	18,000	11,000		直造材で出品願います。
5.0	直	14~18	6,000	4,000			
	曲	20上	11,000	8,000			
からまつ	3.0	直	30上	18,000	12,000		伐採前にご相談ください。
		直	9~13	9,500	6,000		細物直造材を心がけて下さい。
		直	14~18	11,000	8,000		直造材でお願いします。
からまつ	4.0	直	6~13	11,000	6,000		需要あり。直造材を心がけて下さい。
		直	14~18	12,500	9,000		出品願います。
		直	20上	18,000	13,000		需要あり。積極的に出品願います。
		曲	14~18	6,000	5,000		
からまつ	6.0	直	20上	13,000	12,000		
		直	26上	22,000	14,000		伐採前にご相談下さい。
さくら	5.0~6.0	直	13~18	16,000	13,000		土木需要あり。出品願います。
くるみ	2.6	直	54	45,000			
いちい	4.8	直	36	22,000			
いちい	4.0	直	26	37,000			一本単価

出品量 4,886㎡ 販売量 4,730㎡ 落札率 96.8% 買い方 38社

今回の市売りは、スギの長尺材・広葉樹の出品が多く、賑やかな市売りとなりました。市況として、スギについては前回よりやや値下がり傾向となりましたが、需要はありますので引き続き出荷をお願いします。カラマツについては、需要が多く高値が見込めますので、今後も積極的な出品をお願いします。
一方、広葉樹については、冬季に比べ大幅に値下がりしております。これからの時期は極力伐採を控えていただきたいと思います。また、現在スギの3.0m材の需要が増えていますので、今後の出荷についてご検討をお願いします。(直材のφ18-22を主体として)
なお最近、剥皮している材(特にスギ)が多くなってきましたので、測尺には充分ご注意ください。また、現在スギの3.0m材の需要が増えていますので、今後の出荷についてご検討をお願いします。
【お願い】合法認定事業者の登録をお願いするとともに、出荷時にはその都度必ず(合法認定番号及び「合法木材である」)コメントを記載した内容の納品書の提出をお願いします。

第488回 木材共販市況表

(平成29年6月22日実施)

JForest

出品量 2,400㎡・買い方 15社・落札率 82.0% 飯伊森林組合木材共販所

樹種	長さ(m)	規格	末口(cm)	高値(円)	平均値(円)	平均石値(円)	備考
ひのき	2.0	直	26~40	25,000	19,000	5,320	
			14	9,000	8,000	2,240	
	3.0	直	16	15,000	13,000	3,640	
			18~24	18,000	17,500	4,900	
	4.0	直	26~28	16,000	16,500	4,620	
			16~22	15,000	13,000	3,640	
	4.0	直	24~28	15,000	13,000	3,640	
			30上	20,000	17,000	4,760	
	4.0	直	16~22	20,000	15,000	4,200	
			24~28	24,000	17,500	4,900	
4.0	直	30上	64,000	28,500	7,980		
		12~14	9,000	8,000	2,240		
4.0	直	16~22	15,000	13,500	3,780		
		24~28	16,000	13,500	3,780		
4.0	直	12下	360	300		一本売り	
		16~18	8,500	7,500	2,100		
すぎ	4.0	直	20~22	10,500	8,000	2,240	
			24~28	13,500	11,000	3,080	
			30上	18,600	13,500	3,780	
4.0	直	18~22	8,000	7,500	2,100		
		24~32	10,000	8,500	2,380		
からまつ	3.0	直	14~22	7,500	6,000	1,680	
			12~14	5,500	5,000	1,400	
	4.0	直	16	8,500	6,000	1,680	
			18~28	13,000	9,000	2,520	
からまつ	4.0	直	30上	14,000	9,500	2,660	
			小曲り	14~30	5,000	3,500	980
からまつ	4.0	直	12下	360	270		一本売り
			20~24	7,500	6,000	1,680	
からまつ	4.0	直	26~28	11,000	7,000	1,960	
			総評				

ひのき、引き続き出荷量、少なく、良材引き合いあるも価格伸びず。すぎ、活発に応札あるが、出荷量多くややだぶつき価格はやや下がる。からまつ品薄で引き合いあり、やや価格上昇。出荷が偏り状況です。計画的な出材に期待します。出荷協力いただきありがとうございました。